平成 22 年11月 1 日
第 42 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 原田憲一郎
電話 972・7602

ご苦労様でした 活動日当のお支払い


水路から泥の排出は全員の協力が必要（5 月 30 日）

平成22年度の活動は4月から始まりましたので9月末で前期事業分が終わりました。春の水路清掃から秋の農道清掃など例年の通りに活動を行い、該当する活動にはその支援を行ってきました。

活動に参加していただいた会員の方々の日当の計算を行い、過日それぞれにお支払いをいたしました。

昨年度と比較しますと事業数で2件、活動いただいた方も延べ40人増えております。従いまして前期日当総額も11％増の２４８．５８２円となりました。

水田の周りの草刈り作業については排水路に面しているところの作業が対象となりますので、その距離に応じて計算を行っています。また水路清掃などの共同作業については所要時間に応じて決定しています。

お支払いした日当は、充分なものとは言えませんが、厳しい作業を支援するということでご了解いただきますようにお願いいたします。

10月以降は、施設の補修などの事業を予定しておりますので、積極的にご参加いただきますようにお願いいたします。

水路勾配の修正に着手

地区内圃場の最北部、用水ポンプの下を流れる排水路は、従来より上流部に土砂の堆積があるなど排水機能に問題があると考えていました。

6月に測量を行ったところ、上流部から70メートル地点までは逆の勾配になっていることが分かりました。そのために常時水が停滞し、土砂も堆積していたのです。

建設当時の関係者の話しでは非常に緩い勾配で上流側から下流に流れるように作られているとのことでしたが、長い時間で、少しずつ地盤がづれてしまったのかも知れません。

各方面と検討の結果、現在の水路の底をかさ上げして勾配を修正するしかないという結論になりました。

対処方法は決まったものの、実際の作業にはいろいろな問題があります。ひとつには農道から離れていること、市道からは送水管によって隔てられていることなどです。距離が長いので必要なコンクリートも少なくありません。それらの勘案すると環境を守る会の予算では賄えない金額になりました。


送水管の傍にある排水路は冬でも水が停滞している

そこで市の制度の法定外公共物整備事業の適用を受けられるように手続きを行い。このほどようやくその目処が立ちました。

順調に行けば今年度中に改良工事が出来る予定です。この工事に伴う共同作業も行う予定ですので、ご協力をお願いいたします。

また水路の仕切板の改良や水路蓋の交換などを予定しております。みなさんのご提案もお待ちしていますのでよろしくお願いします。

区からのお知らせ

災害時の地域防災組織の必要性

10月5日、区長協議会の勉強会があり、その中で「地域防災組織」の設立を急ぐようにと指導がありました。

地域防災組織というのは、災害などの際にそれぞれの役割を予め決めておき、必要な支援を行う組織をいうものです。例えば福山市の駅家地区では災害対策本部の下に「総務」「情報」「消火防災工作」「避難対策」「食料」「衛生」「急患」の7つの班が編成されています。体制や編成はそれぞれ地域やの実情に合うように異なるようです。現在八方原地区には消防組があり、消火活動や防災活動には出動できますが、避難誘導や救護、炊き出しというような防災活動の総合的な活動が出来るようにはなっていません。

既に新町西区、山手上区には地域防災組織ができています。救護用の救急医薬品や担架などの設備に対してもいくらかの補助が出るようです。

地区によっては消防組がないところもあります。そうしたところでは地域防災への体制ができていないわけですから、一から作り上げることになりますが、消防組が活動しているところでは消防組が中心的な活動主体となって、それぞれの役割を担うようになるようです。地域の中に居られる専門家の力も借りることも可能になると、説明がありました。つまりいままで私たちが常日頃行ってきた地域内の助け合いを組織的に行う形です。



昨年や本年の水害や、これからいつ襲ってくるか分からない地震や台風などに対して、地域の備えを確かめておくということのようです。

いずれこうした形を取ることが必要になるかとは思いますが、みなさんのご意見はいかがでしょうか。

芋掘りごろごろ



子ども会全員で芋掘り、袋一杯のサツマイモ

八方原子ども会の育ててきたサツマイモの収穫が10月17日に行われました。

畑から次々に現れるサツマイモに歓声が上がりました。大きなものは1kgを大きく越すものもありました。一番大きなお芋はおごおり文化祭に出品の予定です。

掘り出した芋は全員が持ち帰りました。用意した買い物袋に一杯のお芋。天ぷらに、焼き芋に、ふかし芋にそれぞれ味わいました。

クリーンアップ地域内道路

秋の地域内道路の草刈りを10月17日に行いました。40名を越すご参加をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。



市道傍の公有地も草刈り、この仕事が一番大変

この道は林道として作られたもので、舗装されないままでしたが、小郡町時代に舗装をしました。未舗装の時は「みちつくり」という作業があったと記憶しています。行政からはその作業への資金援助がありました。みちつくり作業の必要は無くなりましたが、草刈り作業として続いていました。

合併後5年を経過して、従来通りの資金援助は今年で終わることになりました。今後は別の形になるのか、全く地区の自主的な作業になるのか分かりませんが、地域内の環境整備、地域の連携の強化として今後も続ける必要があると考えています。

雨で中止に

スローピッチソフトボール

10月24日開催予定だったスローピッチソフトボール大会は雨天のために中止になりました。準備をされていた方には申し訳なく思います。

女子はソフトバレボール大会が予定通り行われていました。八方原地区は出場していませんが、会場では30チーム以上が参加して熱戦を行いました。Aブロックでは椎の木、Bブロックは蔵敷Bの優勝でした。